



第509号 2016年7月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1
広大附高アカシア会館
TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 592回 例会



左：若草色のロールカーテンを取り付けた母校食堂内装 右上と右中：昼休憩に賑わう様子
右下：季節限定メニューも人気(写真は冷やし中華ととんかつ定食)

ご予約受付開始

2016年11月発行

2017年版
アカシア会
会員名簿

個人情報保護の視点と名簿の充実を図り、手持ち名簿引取り支援策も検討中！
ご期待ください！

定価 5,000円

同封の名簿予約用支払取扱票でお申し込みください。

☎01300-4-13111
「アカシア会」

7月末日までにお届け頂いているご住所・勤務先等が名簿に反映されます。変更がある方はお早めにお知らせください。

第12回 原爆死没者・戦没者慰霊追悼の集い

日時：8月6日(土)午前9時から

場所：広大附属高校内「原爆死没者・戦没者慰霊碑」前



ご遺族のほか現役の附属生徒、卒業生などが参列して慰霊式典を執り行います。

慰霊式の終了後9時45分から講堂にて「被爆体験を聞く会」を、高田 勇氏(41回)をお招きして開催します。多数ご参列ください。暑さ厳しき折、平服でお越しください。

平成28年度 アカシア会総会

日時：平成28年7月19日(火)午後6時30分

場所：ANAクラウンプラザホテル広島
※日程と会場が異なります。ご注意ください。

平成27年度事業・決算報告、監査報告
平成28年度事業計画・予算案 他

アカシア会員なら参加自由。直接会場にお越しください。総会後の月例アカシア懇談会会費は4,000円(85回以降の卒業生3,000円)です。

Contents

名簿予約、総会、追悼の集い案内 … 1	近畿・東海・呉アカシア会 ……10
総会議事資料、常任幹事会報告、 運営会費納入のお願い …… 2	北海道・富山アカシア会、 職域・クラブだより ……11
財務委員会、名簿委員会、広告委員会、 会報編集委員会、110周年収支報告… 3	同期会だより ……12
アカシア探検隊 牛島信氏(58回) …… 4	ミニギャラリー、アカシアライブラリー、 訃報……14
アカシア夜話 田中清司氏(39回) …… 6	出てもらうてもええかいのお、アカシア親子、 事務局だより、地域アカシア案内 …15
友誼の御園(母校だより) …… 8	6月例会レポート、月例会案内 ……16
いろいろアカシア情報、東京アカシア会… 9	

総会議事資料

平成27年度 アカシア会 収支計算書

自：平成27年4月1日～至：平成28年3月31日

会長：向井恒雄(50回)

幹事長：大方幸三(46回)

会計幹事：畑 秀樹(70回)/熊野留美子(70回)

■当年度会計の部

収入の部		支出の部	
会員運営会費(75回生)	680,000	会報発行費	2,971,394
準会員入会金、維持会費	0	名簿発行費	3,855,279
新卒者維持会費	1,850,000	通信費	45,305
新卒者入会金	925,000	電話料	52,489
名簿販売収入	1,134,000	旅費交通費	274,940
広告料収入	3,350,000	会議費	565,255
預金利息	1,183	人件費	2,068,595
アカシア基金運用益	150,924	事務用品費	98,783
寄付金収入	0	母校宛寄付金	70,000
雑収入	73,467	手数料	16,264
事務受託費	360,000	追悼の集い諸経費	52,054
運営積立金から振替	0	雑費	0
		器具備品費	179,280
		維持費	64,800
		その他の支出	5,270
収入の部合計	8,524,574	支出の部合計	10,319,708
合計	8,524,574	当年度剰余金	▲ 1,795,134
		合計	8,524,574

■剰余金計算の部

(単位：円)

前年度繰越額	297,228
当年度剰余金	▲ 1,795,134
差引翌年度繰越額	▲ 1,497,906

■アカシア基金の部

(特別事業準備金・学校行事補助費) (単位：円)

前年度繰越額	12,400,000
110周年記念事業貸付返済	4,000,000
差引翌年度繰越額	16,400,000

■運営積立金の部

(単位：円)

前年度繰越額	43,945,200
運営会費収入	1,110,000
当年度会計へ振替	0
差引翌年度繰越額	45,055,200

監査報告書

上記収支計算書および財産目録につき監査の結果、適正に経理されていることを認めます。
平成28年5月12日 監事 高橋正光(46回)
監事 寒川起佳(51回)

■総会で審議予定の議案

◆平成27年度事業・決算報告

(1) 事業報告

・アカシア会報と名簿の発行

会報 平成27年7月 12,550部

平成28年1月 12,500部

名簿 平成27年11月 900部

・会員の交流・連携強化

(各地域アカシア会、学年幹事会)

・委員会の設置、その他

(2) 決算報告

(3) 監査報告

◆平成28年度事業計画・予算案

(1) 事業計画

・アカシア会報と名簿の発行

会報 平成28年7月 12,600部

平成29年1月 12,600部

名簿 平成28年11月 900部

・会員の交流・連携強化

(各地域アカシア会、学年幹事会)

(2) 予算案(総会当日配付)

新事務局員(83回)が紹介された。

大方幸三幹事長(46回)より閉会の挨拶があり、散会となった。

常任幹事会報告



向井会長(議長)

平成28年6月10日(金)、会長・副会長・監事と常任幹事(50名のうち24名の出席と19名の委任状提出)を参集し、母校大会議室に於いて常任幹事会が開催された。

向井恒雄アカシア会会長(50回)の挨拶の後、以下のとおり審議・協議および報告をおこなった。

【審議・協議事項】

①平成27年度事業報告・決算

甲斐稔事務局長(63回)、熊野留美子会計担当幹事(70回)の報告、高橋正光監事(46回)の監査報告を経て、承認された。

②平成28年度事業計画(案)・予算(案)

事業計画について、今期設立された4委員会より説明があった。

名簿委員会より名簿の在り方の検討状況が説明され、販売価格5,000円・名簿「標準規格文字」の採用について協議され、承認された。

財務委員会より運営積立金の計上の仕方および収支の費目の変更の提案が

あり、各委員会の予算案とともに協議され、承認された。

③110周年記念事業収支報告

本田和哉記念事業委員長(62回)より、学校寄付金の使用状況の説明および記念事業費の剰余金をアカシア基金に繰り入れる報告があり、承認された。

【報告事項】

アカシア会事務局の中井満理



運営会費納入のお願い

アカシア会の健全、永続的な運営の為に、76回(卒業後30年)以前の卒業生全員に1万円の運営会費をお願いしています。まだ納入いただけていない方には振込票を同封していますので、是非とも運営会費1万円を最寄りのゆうちょ銀行よりお振り込み下さい。

安定した運営体制を次世代に引き継いで行く為にも、同学年やお知り合いの方にお声をお掛けいただくようお願いいたします。

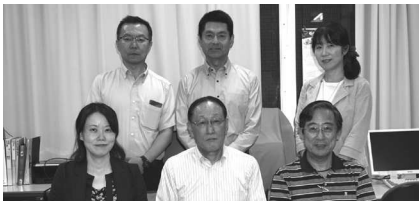
卒業回別納入者数(2016年6月7日現在)対象会員数6086人・納入者数3818人・納入率62.7%

卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入
17回	1		32回	12	5	47回	157	116	62回	174	110
18回	1		33回	13	6	48回	161	155	63回	170	113
19回	2	1	34回	23	9	49回	154	114	64回	170	89
20回	1		35回	28	14	50回	169	125	65回	180	115
21回	1		36回	25	7	51回	154	136	66回	183	116
22回	1		37回	20	8	52回	161	121	67回	178	112
23回	2		38回	60	24	53回	180	117	68回	172	103
24回	3	1	39回	42	11	54回	175	98	69回	177	106
25回	2	1	40回	70	29	55回	180	111	70回	185	131
26回	3		41回	63	31	56回	174	109	71回	157	104
27回	4	1	42回	64	21	57回	168	137	72回	174	126
28回	4	2	43回	141	137	58回	160	95	73回	171	83
29回	14	6	44回	149	113	59回	183	119	74回	171	89
30回	5		45回	112	82	60回	168	97	75回	173	69
31回	10	1	46回	111	86	61回	177	106	76回	143	

財務委員会

平成28年5月19日および6月3日の両日、甲斐稔事務局長(63回)をオブザーバーにお招きし、アカシア会館にて財務委員会を開催しました。両日の議題は、本年度のアカシア会収支予算の立案で、卒業後30年の方から頂いている1万円の運営会費の取扱いや勘定科目の簡素化、名簿・広告・会報編集の各委員会から出された収支計画等について協議し、本年度の収支予算案を策定しました。

財務委員会の主な役割は、収支予算の策定と管理で、少々固い内容ではありますが、当委員会への参加を希望される方は、是非ご連絡ください。



後列左より 杉山亮一(75)、先本賢司(71)、熊野留美子(70)
前列左より 吉田智子(84)、委員長：木坂俊治(67)、事務局長：甲斐稔(63)

名簿委員会

平成28年度2回目の会議を、5月26日アカシア会館にて開催しました。過去1,400冊あった名簿発行数は近年900冊程度に減っていますが、名簿は広告収入増とコスト圧縮で黒字体質を保っています。この縮小均衡の状況を打開すべく、名簿コンテンツの見直し他を検討中です。

また個人情報保護強化の視点から、「個人情報の取り扱いに関する基本方針」を取りまとめ、掲載します。

先輩後輩の垣根を越え同窓生が協力し合うために活用できる名簿づくりを目指して、検討を進めている状況です。



後列左より 今村彰宏(78)、木本芳弘(66)、瀬尾 淳(85)
前列左より 事務局長：甲斐稔(63)、委員長：田島正敏(59)、大田陽子(74)

広告委員会

広告委員会は、110周年記念事業の広告取りの実績を買われた(?)榎本良二氏(69回)を委員長とし、井坂雄幸氏(75回)、大下洋嗣氏(76回)、清水満明氏(78回)、森川真吾氏(79回)、中畝将博氏(83回)をメンバーとして、他の皆様のお力も得ながら、皆様よりアカシア会会員名簿に掲載する広告を募っております。

法人広告、病院広告、個人事業主広告、職場同窓会広告、同期会広告など、幅広く募集しております。皆様からの掲載申し込みを心よりお待ちしております。宜しくお願いします。



後列左より 委員長：榎本良二(69)、大下洋嗣(76)
前列左より 名簿委員長：田島正敏(59)、会報編集委員長：陰山秀明(63)、事務局長：甲斐稔(63)

会報編集委員会

平成28年2月21日、アカシア会館にて、甲斐稔事務局長(63回)をオブザーバーにお招きし、今年度上期会報編集会議を開催しました。読者の皆様に喜んで頂ける紙面づくりを目指し、議論しました。

主な議題は、①報告事項、②上期月刊版掲載計画立案、③全国版7月号掲載計画立案。

引き続き会員の皆様にご登場いただくコーナーも用意しますので、御協力お願いします。また、当委員会に参加されたい方は是非ご連絡ください。



後列左より 佐々木隆雄(57)、大田陽子(74)、岡田美香(76)、宮井ふみ子(76)、吉野かおり(79)、中井満理(83)
前列左より 副委員長：中本泰弘(65)、委員長：陰山秀明(63)、事務局長：甲斐稔(63)、三隅俊行(66)

■創立110周年記念事業収支報告

平成25年7月2日～平成28年6月13日

項目	事業名	収入金額(単位：円)	支出金額(単位：円)
学校寄付金	寄付金	23,698,943	
	食堂改装・什器備品費		19,305,560
	諸経費		4,393,383
学校寄付金 合計		23,698,943	23,698,943

記念事業費	事業協賛金	2,437,802	
	広告収入	15,336,000	
	雑収入	25,978	
	(事業費) 記念式典・宇宙フォーラム		5,231,580
	記念誌	35,000	2,649,839
(間接費)	スポーツ事業		352,940
	記念祝賀会	540,000	816,298
	オープンプラス会	1,270,000	1,151,360
	仲良し記念ゴルフ(独立会計)		-
	仲良し観光ツアー(独立会計)		-
	事務諸経費		2,414,471
(余剰金)	会報特集号発行費		5,479,007
	広報記録費		405,000
	間接費大学負担分受取	4,055,715	
	記念事業費 合計	23,700,495	18,500,495
	アカシア基金へ預け入れ		5,200,000

TATESHIBA

General Engineering

株式会社 立 芝
代表取締役会長 向井 恒雄 (50回卒)

アカシア探険隊

MI・2016(夏)

～法律事務所潜入の巻～



58回 牛島 信氏

～牛島総合法律事務所
代表弁護士～

中：首相官邸を見てみようない？

加：え～！見たいです！！

中：ほんじゃ、東京に連れて行ってあげるけえ、用意しんさい。

加：ん？！なんか怪しいっすねえ…

中：ともかくついて来んさいや～



ということで今回は、多くの敵対的買収(M&A)やコーポレートガバナンス関連の案件を手がける弁護士としてご活躍される傍ら、小説家としても著作を重ねておられるアカシア58回の牛島信さんに話を伺ってきました。

.....

中：本日はお忙しい中、お時間を頂戴しましてありがとうございます。

牛：ようこそいらっしゃいました。

中：全国や東京のアカシア会でも、また110周年の時も大変にお世話になりましたありがとうございます。

牛：今日は高校の頃の何をいろいろ尋ねられるのだろうと思うのですが、最近、私はコーポレートガバナンスのことに取り組んでいまして、リーダーやリーダーシップについてよく考えます。リーダーの反対はフォロワーですね。世の中には極く少数のリーダー、各時代に例えば織田信長や孫正義のような力と意欲が有り余っていて一生懸命におやりになる方がいる。彼らによって大多数のフォロワーが生きていきます。ガバナンスというのはその雇用を大事にすることなんです。

加：はい。

牛：そもそも人は幸せになりたいと思っ
て生きています。それは自分に対する



誇り、独立した自分、ということから出てきます。働けば、その見返りとして報酬を与えられます。お金をいただくことは、社会がその人に価値があって、社会に対して寄与しているから与えられるんです。双方が対峙しています。その気持ちを人に湧き起こさせる唯一のものが働くということだと思います。働かなかつたら、嫌なことないかも知れないけれども、人生の意味もわからない。これが私の信念なんです。そのために会社というものがあ
ると思っています。

中：はい。

牛：社会が会社を認める理由は、非常に単純化して言うと、雇用が増え、仕事が増えるからです。雇用は保護することができない。自由主義で資本主義の社会では、雇用は切られることがあります。会社は、不完全な存在の人間が知恵として生み出したものだからです。それでも上場会社は人類の智慧の結晶だと思っています。そんな想いから、私はリーダーが大事だと思っています。そしてリーダーの元に集うのがフォロワーなんですね。そこで話が一巡りして、高校の頃に戻ってきます。

加：はい。

牛：実は「フォロワー」という言葉に最初に触れたのは、附属に通っていた時でした。内海巖校長先生が「民主主義においてはフォロワーが大事だ」と訓話の時間で仰っていました。その時は意味がよくわかりませんでした。ところが特にここ数年、コーポレートガバナンスやリーダーシップについて考えていると「フォロワーが大事だ」と思うようになりました。

加：中学や高校の頃にはどのようなことを考えていらしたのですか。

牛：高校時代を振り返ると、将来、私は何をすれば良いのだろうか？ということばかり考えていました。

中：具体的には何かありましたか。

牛：漠然と国際公務員、国際連合に務めるような人間になりたいと思っていました。当時は「国際」という言葉が日本の未来に重なっていたのです。

加：国連でのお仕事ですか。

牛：私は、東大に入らなきゃいけないという強い圧力をずっと感じて生きていました。実際に受験したら一浪して、翌年は東大入試がなくて、二浪で入りました。実は東大入学を一番喜んでくれたのは父で、結果的に最高の親孝行をしたようでした。といっても今の価



P r o f e s s o r

1949年9月30日宮崎県小林市生まれ、1966年広島大学附属中学校卒業、1969年広島大学附属高等学校卒業、1975年東京大学法学部卒業、1977～1979年検事(東京地方検察庁他)、1979～1985年弁護士(アンダーソン・毛利・ラビノウィッツ法律事務所)、1985年牛島総合法律事務所開設(同事務所代表弁護士、2016年5月現在・弁護士55名・外国弁護士2名・スタッフ42名)

<専門分野>企業合併・買収、国際訴訟、一般企業法務、会社・代表訴訟、コーポレートガバナンス(企業統治)、コンプライアンス、保険、知的財産関係等
<委員等>北越紀州製紙株式会社 社外取締役、日本生命保険相互会社 社外取締役、社外取締役委員会委員長、松竹株式会社 社外監査役、株式会社朝日工業社 社外監査役、社団法人日本女子プロゴルフ協会 監事、一般社団法人不動産証券化協会 監事、特定非営利活動法人日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 代表理事・理事長、一般社団法人 価値創造フォーラム21特任顧問

<著書>株主総会(1997年幻冬舎)他、小説9冊、エッセイ集9冊、その他多数の出版に携わる。詳細はホームページhttp://www.ushijima-law.gr.jp/

値観とは違うと思います。

中：学校の様子はいかがでしたか。

牛：附属は自由な雰囲気にあふれた学校だったと思います。男女共学で、先生も幅広く偏ることなく熱心な教育者がたくさんおられました。でも、実は私は学校に通うのが嫌でした。単に朝起きるのが辛かっただけですが、それで時どき休んでいました。すると担任の下永田幸男先生に呼び出されて理由を尋ねられました。当時、生意気だったんですね、言わなきゃいいのに「わかってることを聞いても仕方ありませんから」と答えました。すると「う～ん、そうか」と。ですがそんなことを言った手前、英語は一生懸命に勉強しましたよ。そのおかげで今でも英語を毎日のように使う仕事に携わっているのかも知れません。



加：ユニークなエピソードですね。

牛：でも何よりも受験の重圧の方がきつかったです。小学校の時から近所の塾に通っていて、附属は東大への通過点でしかない、とも思っていました。

加：小学生から塾通いですか。
 牛：はい。でも私は基本的には独学の人です。東大では出欠をとりませんでしたから、授業に出ないで自由に好きな読書を出来る時間を謳歌していました。司法試験も参考書を頼りに独学で受けました。今でもそうですね。私は人にもものを習うのではなくて、自分でやりたいようにやる方が好きです。弁護士は向いていたんでしょう。



中：お生まれは宮崎県なのですね。
 牛：はい。宮崎県小林市で生まれて4歳まで住んでいました。私は10～18歳までと後に検事赴任中の1年間しか広島で暮らしていませんが、自分の出身地は広島だという気がしています。人生がフル回転している時代には、過去とは食べてしまった御飯のようなもの、と森鷗外が随筆に書いている通りです。ですが66歳にもなると、昔のことが大切になってきました。両親のこともよく思い出したりします。
 加：フル回転しなくても良い、と。
 牛：事務所を始めて30年以上も経つと一人前以上の所員がたくさんいますから、私がやらなければならないことは幸いにも減ってきています。おかげで別のことを一生懸命やっています。コーポレートガバナンスに打ち込めるのも所員の支えのおかげです。
 中：お忙しい中で執筆もされていますね。
 牛：最初の『株主総会』は、当時株主総会のお手伝いをしていた中での疑問を元にしています。小説は不特定多数の人に向かって語りかける思いで書きました。やはり余裕が持てるようになったことによります。小説とエッセイ集とを9冊ずつ出しています。今も連載を抱えています。

加：実は今回、小説『あの男の正体』^{ハラワタ}を読んで来ました。
 牛：おお！それはそれは、ありがとうございます。あれは難産でね、連載から大分手を加えたんです。
 加：読んでいたおかげで、今日の内容がとてよく分かりました。
 牛：そうですね。フィクションとは言え、私は自分の人生しか知らないから。
 加：一つ伺いたいののですが、書いていると自分の想定と違う方向に自然と物語が流れたり登場人物が動き出す、という作家がおられます。いかがですか。
 牛：よくぞ聞いてくれました。そうなんです。まさにこの小説に出てくるヒロインがそうでした。「私は絶対に嫌だ、そんな結末に向かうのは嫌だ」と言って、想定していた結末と全然違う方向に行くのです。カクカクシカジカでね。(ネタバレになるので伏せ字にします、是非お読みください)
 加：え～！そうだったんですか!!!
 牛：そうなんです。面白いよね。
 中：少し戻りますが、附属を出た後の方が楽しかったですか。
 牛：附属の頃にも楽しいこともあったけど、それ以上に重圧感の方が強かったですね。実は東大に入った先に、やっと自由な人生が始まると思っていましたが、重圧感は今でも続いています。
 加：ということは、その重圧感是自己で生み出しておられるのですか。
 牛：おお！そうなんだよ。自分には到底できないような課題を自分に課してきた人生なんですよ。私は自分自身の目標の大きさによく潰されないでここまで来たものだと思います。今でも野心的だと思います。でもあの小説に書いたように、最後の最後で違ったんだと思うかも知れません。いや、思い始めているのかも知れないな…
 加：変わりつつあるんですかね。
 牛：そうとも限りません。人から見たら充分と映るかも知れませんが、自分では常にずっと空腹感を抱えたままで

す。愚かだなと思いますし、滑稽だなのとも思います。
 加：止めたいですか。
 牛：止めるに値するほど素晴らしい別の価値を持ってない、代わりの価値を持っていません。三つ子の魂百まで、です。
 中：在校生へのメッセージをどうぞ。
 牛：世の中も人生も、あなたが考えているよりもはるかに広くて深い。これまでの体験よりずっと素晴らしいことが待っていると申し上げたい。私は世の中に出て働いてみて初めて自分の意味、世の中と自分との関係が見えてきましたから。
 中：アカシアの皆さまにもどうぞ。
 牛：アカシア会は優れた方の集まりだと思います。人のつながりは広島から東京に来て素晴らしいものでした。このアカシア会があることが、私にとって人生の一つの大きな要素です。自分の原点は附属の頃にあります。取り替えがきかない経験でした。また人は死ぬんだなとも最近思うようになりました。でも私も皆さんも、これから先にも面白いことがたくさんあることだろうと思います。
 中：今日はどうもお忙しい中をありがとうございました。

 中：すごい立地の事務所じゃろ。
 加：えっ？首相官邸は!?
 中：さっき上から眺めんかった？
 加：はあ、ガラス越しでしたけど。
 中：ほんじゃ、帰るとしようか～

中本泰弘 (65 回)
 加用雅信 (80 回)



左より、中本泰弘 (65)、牛島 信氏 (58)、加用雅信 (80)

「平和は楽しい」

私達は地球の人達と音楽と一緒に楽しむ事で
 「人の心に平和のとりでを築く」活動を推進していきます。



NPO法人音楽は平和を運ぶ
 〒730-0041 広島市中区小町6-30 PELRA101
 Tel:082-247-8604 http://music-peace.jp
 理事長 松尾 康二 (46回)

アカシア夜話 アカシアンナイト
第15話 (39回生の被爆)

東京で桜の開花が告げられた麗らかな春の日、都内の某老舗ホテルで、初めて**田中清司**先輩(39回)にお会いしました。背が高く、85歳という年齢を感じさせない闊達な方でした。病気で床に就いていて、少し足腰が弱くなったと杖をついてはいらっしやいましたが、お体の方はもうすっかりよらしいようで、今はハリハバリに熱心に通われているとのことでした。ロビーで、お知り合いらしい上品なご婦人と挨拶を交わされる姿はスマートで、一体どんな方なのだろうと緊張のインタビューの始まりでした。

最初に**田中**さんが差し出されたのは、1クラスのはほぼ全員が学徒動員中に被爆死した県立広島第二高等女学校の、生き残った生徒の手記でした。

39回生の被爆

田中：原子爆弾について知らない人が多すぎる。原爆で被爆者がどんなに苦しんでいるかを知ったら、新たに核兵器を作るなんてできるはずがない。こういう手記を英語に訳して世界の人々に読んでもらいたいですね。**甲斐**：このクラスはほぼ全滅です。附属の中学1年、2年は疎開していたので、被爆死された方は少なかったけれど。**田**：そう、疎開を行ったということは、本当に附属の先生は賢明だったね。

実は私たち39回生も、先生に助けていただいたのですよ。私たちは当時、南、北、東の3クラスにわかれていました。戦局も悪化し、いつ空襲があるかわからないので、学校を守るため、3クラスが順に宿直に入っていました。昭和20年8月5日は北組、6日は私たち南組が当番でした。

8月5日は、一晩中、警戒警報、空襲警報がなり、雨天練習場で寝ていてもすぐに起こされる。北組は眠ることができませんでした。夜が明けて朝6時、その日の担当の**岡本恒治**先生が点呼をした時、北組の**木村現**君が申し出ました。「昨夜は一睡もしていない。非常に疲れているので今日は宿直を切り上げて早く家に帰して欲しい。」当時、与えられた仕事をせずに帰りたいなどあり得ない話でした。しかし、**岡本恒治**先生はご自身も空襲で寝ておられないから、「よかるう、君たちはこれで解散にしよう」とおっしゃり、北組は7時過ぎには家路に向かったのです。

木村現君は東千田の家について、玄関の戸を開けた途端に爆風が来て、家の中も床が飛ばされ、その床下へ転がり落ちた。そこへ畳が被さり、落ちてきた屋根根が被さり、その中で助かった。同じく北組の**長沼健**君も、古江の自宅に自転車

で着いた丁度その時、爆音を聞いた。広島が大変なことになった、夜警が残っているからと、すぐ千田町に向かいました。途中、一中の生徒が校歌を歌いながら死んでいくのを見たそうです。この**長沼健**君とか**木村現**君が生きていたため、広島のサッカーは強くなったのです。**桜井頼己**君や**樽谷恵三**君とかもいて、広島の、そして日本のサッカーを再建していきました。**甲**：サッカー班は、戦後、昭和22年西宮の全国中等学校選手権大会で優勝、翌23年の国体でも優勝しましたね。その後日本代表選手にも名を連ねます。学校に残って原爆の犠牲になっていたら、日本のサッカー界は大きく変わっていたでしょう。

田：そう、そして大事なのは、北組を帰して下さった**岡本恒治**先生は、学校に残っておられたということです。**甲**：倒壊した建物の下敷きになって、焼死されています。**田**：その後、附属中学校は、先生のご遺族をととても大切にされ、校門前の崩れなかった武器庫を家族に提供されています。私たち39回生は、その後、校門を通るときは、必ずご家族に向けて一礼をしていました。

宮井：6日の朝、**田中**さんはどちらにおられたのですか。**田**：そのころ宿直以外の中学3年生は祇園の三菱工場へ動員されていました。その日、私は可部の山に機械を上げる作業をしていて、山の上からピカッと光ったのを見ました。6日の晩は宿直だったから広島へ向かおうとしましたが、可部街道は負傷者がいっぱい進めず、歩いて吉田へ帰りました。40km以上はあったでしょう。草鞋を履いていたけれど擦り切れて裸足になって歩いていたら、途中で通りすがりの人に「広島はどうだったか」と聞かれました。「光った。もう広島は全滅です。」と言ったら、「これ履いていけ」と言って、自分の履いていた草履を投げてくれました。

翌7日、吉田の田舎から弁当を持って芸備線で広島へ向かいました。戸坂で降りて歩いて行くと同級生の家がありました。戸坂だから壊れてはいないけれど、食べるものがない。弁当を全部「これ食べて下さい」と置いて附属へ向かいました。火の番をするために学校へ行っただけ、もう校舎も何もなくて。仕方なく、帰ろうとしましたが、同じ道を帰ることが出来ない。**甲**：来ることができた道を？ **田**：来る時は知らずにどんどん来たけれど、帰りはあそこに遺体があったと思うと怖くて帰れませんでした。広島を中心部は、軍隊が掃除したのかと勘違いしたくらい何もなくて。ポツンとあっ



田中清司氏(39回) 略歴

昭和4年7月20日：広島市生まれ。15年4月：広島高等師範学校附属小学校5年生に編入、後に蹴球班で全国制覇する長沼健氏、木村現氏、樽谷恵三氏、古川浩氏等と同級。16年4月：広島高等師範学校附属中学入学、同時に蹴球班に参加。同年5月若しくは6月：広島一中(現広島県立国泰寺高等学校)と練習試合をして敗戦。以後終戦まで勤労働員等の為、練習、試合共になし。20年8月：原爆の為、母校校舎他全滅。賀茂郡原村(現東広島市八本松町原)の旧陸軍兵舎にて授業再開。22年1月：東千田町に母校復帰。旧文理科大学グラウンドにて蹴球班の練習を再開。芋畑と化したグラウンドを整備しながらの練習は困難を極めた。同年12月：全国中等学校蹴球選手権大会で、都立5中、小田原中、甲府中を破り、決勝で尼崎中に7-1で勝利して全国制覇。帰路、サッカーシューズを紛失しサッカーが出来なくなる。23年3月：裸足でも出来るバレーボール班を小川隆司氏(39回)等と共に創部し、県大会で優勝。24年3月：広島高等師範学校附属高等学校(新制)卒業。25年4月：広島県立吉田高等学校に体育教師として赴任(昭和26年3月まで)。26年4月：広島貿易入社。36年4月：広島貿易を改組し広島貿易株式会社取締役就任 現在に至る。30年～39年：全国都市対抗サッカー選手権大会開催に際して、東京都のクラブチームTRICKクラブ監督に就任。34年、36年に全国3位。38年4月：東京オリンピック開催に際して、FIFAの役員に選任(39年末ごろまで)。

た路面電車の中で女学生の運転手が死んでいる。吊革にぶら下がってね。あの住友銀行の階段には、亡くなられた方がまだ座ったままでした。

こういう原爆の被害を英語にしてアメリカに送るべきだと思いますね。そう思い、アメリカのお客さんを連れて、一緒に原爆資料館まで行ったことがあるけれど、私は入る事が出来なかった。私には見る事が出来ない。**宮**：思い出されるのですね。**田**：原爆の怖さについて言えばもう一つ、母が被爆後、「清司、火傷はうつるか」と言うのですよ。火傷がうつるはずないし、そもそも母は爆心から40kmも離れた所にいたから、火傷するはずないのに。どうも亡くなった方の火葬を手伝ったりしているうちに手が火傷のようになったようです。逃げてきた方の体や服に放射性物質がついていたのでしょう。最期は癌で亡くなりました。放射能というのは恐ろしいものです。

甲：その後はどうされたのですか。**田**：実は私は海軍兵学校へ入ることになっていた。でも、原爆の混乱で兵学校には行けない。そのうち終戦になってしまいま

した。附属中学は原村で再開したのでそこへ戻りました。近所の西条農学校の校庭でサッカーの練習も再開しました。

戦時下の附属生活

甲：田中さんの附属生活について、もう少し伺いたいのですが。**田**：僕は大手町小学校から附属小へ転入しました。途中から入ってもいじめられたりはしなかったね。で、附属中へ。その頃は配属将校による軍事教練がありました。将校はいばっていたけれど、国立ということで、陸軍大佐も居たから、他の中学のように押さえつけられることはなかったと思いますよ。軍事教練では銃の練習もあって、皆は三八式歩兵銃なんだけれど、僕は体が大きいから、軽機関銃を持たされた。自然にお国の為と思ってやっていたね。

岡田：授業はありましたか。**田**：あるにはありましたよ。特に私にとって大きいのは、あの戦時下にあっても、英語の授業が続けられたことです。英語が続けられたのは全国でも三校しかなかったと言われている。僕はこの附属で習った英語で、戦後諸外国との商売をやってきたし、サッカーの現場でも通訳をやってきた。**宮**：え、通訳が出来る程、英語がお得意になるのですか。**田**：そう。その英語で、海外の方とも交渉して商売を広げることができた。もちろん今も勉強しとるよ。今では挨拶位なら7ヶ国語でできる。**宮**：やはり努力と継続ですね。**岡**：でも、だんだん授業より動員が増えてきたのですよね。**田**：そう、最初はモッコを担いで、ひたすら土運びできつかったね。でも、3年生からは三菱の工場で、機械の構造を詳しく教えてもらい、航空機の部品を作っていた。**岡**：14歳位の少年が作った機械で戦争をしていたということですか。**田**：そう。女子も弾薬を作ったりしていたしね。工場には同じ年頃の工具も居て一緒に働いた。原爆投下の2日前に、その内の一人と殴り合いのケンカをした。彼は原爆で亡くなってしまったよ。

サッカー班での活躍

甲：そして戦後、サッカーを再開したのですね。**田**：練習は厳しかったです。グラウンドは、原爆の熱線でポコポコの砂地

になっていたし。その頃は、練習中に水を飲んではいかんと言われていたでしょう。熱中症で倒れるのですが、水をぶっかけられて、気がついたらまた練習する、なんてことをやっていたね。**甲**：厳しい練習で、優勝を勝ち取ったのですね。**田**：優勝できるなんて思っていなかった。一つずつ勝っていこうとやっていったら優勝した。もっとも、「広島なら食べ物があるから勝てるだろう」と言われたけどね。



昭和21年8月県大会決勝 左から2番目が田中氏

甲：それだけじゃあ、優勝まで1点しか落とさずに圧勝するなんてことはできませんよ。**田**：サッカーをしていた仲間が、皆常に控え目だったけれど、原爆で何もかも失って、一緒に立ち上がらなければという意識が強かったでしょうね。**甲**：同期に日本代表選手で、メキシコオリンピックの監督、元日本サッカー協会最高顧問の長沼健さんがおられますね。**田**：そう、卒業後、長沼健君が推薦してくれて、東京都の監督をさせてもらったことがあります。FIFAの仕事やメキシコオリンピックの仕事もさせてもらった。その時も、附属で勉強した英語が役にたったよ。相手の言葉で話すということが大事ですね。

附属中学校の教育

甲：附属の教育は素晴らしかったのですね。**田**：そしてその素晴らしい先生方が、全く威張ってなくて、生徒を尊重して温かく接してくれました。友達っていうわけじゃないけど、先生と生徒の距離が近かったように思いますよ。時には一緒に麻雀をしたかな。**甲**：僕の時もまだそんな感じだったかなあ。**田**：横手三千雄先生の一家が法事で家を空けられた時、留守番を頼まれたことがある。もっとも、

後で「清司の野郎、米櫃が空になっとなった」と言われてしまったけどね。**宮**：いい関係ですね。



昭和21年県大会決勝 キーパー古川浩氏(40回)

田：僕も1年間、薦められて女子校の体育教師をやったのですよ。**宮**：田中さんは、サッカー以外にも、バレー班を立ち上げて、しかも県大会で優勝されているし、確か5000メートル走の記録もお持ちだったんですよね。スポーツ万能でいらっしゃるから。**田**：いや、そういう訳ではないけど、当時は、戦争で体育を教えることができるような若い男性が居なくなっていたので、丁度いいのが居るということで薦められた。でも、しっかり附属で教わってきたから、実技にしても、生理学にしても先生としてやっていくことができたと思います。休みの日には附属まで出向いて勉強して、また教えるという日々を過ごしましたよ。その時もまた、附属を卒業して本当に良かったと思いましたね。

編集を終えて

田中先輩の笑顔とスケールの大きなお話に引き込まれて、最初の緊張はすぐにほぐれ、あつという間に予定の時刻となり、惜しみつつその場を辞しました。

ご自身の被曝について語られた時は、その記憶にたいへん傷ついておられること、そして核のない平和な世界を強く望んでおられることを感じました。戦争が後後まで人々を傷つけること、人の運命を大きく変えてしまうこと、そして、人々の相互理解と努力で戦争は防げるのだということを教えていただきました。

編集：岡田 美香(76回)

編集：宮井 ふみ子(76回)

文責：甲斐 稔(63回)

～母校定期演奏会のお知らせ～

合唱班 第10回 定期演奏会

日時：2016年7月31日(日) 開場：14:30 開演：15:00

場所：広島大学附属中・高等学校講堂

プログラム 第1部：ルネサンスの“聖”と“俗”

・パレストリーナのミサ曲より

・マドリガル(ダウランド他)

第2部：“fioretto” ～花にことよせて～

第3部：佐藤 眞 混声合唱のための組曲「蔵王」

(OB・生徒合同ステージ)



入場無料！お気軽にお越しください。

管弦楽班 第40回 定期演奏会

日時：2016年8月11日(木祝：山の日)

開場：16:00 開演：16:30

場所：広島国際会議場フェニックスホール(平和公園内)

曲目：チャイコフスキー交響曲第5番、バレエ音楽「ガイヌ」

第1組曲より、「タイタニック」、「アラジン」他

※会場に駐車場はございませんので、付近の一般駐車スペースにお停め頂くか、市内電車などの公共交通機関をご利用下さい。

友誼の御園 ～母校だより～

7月30日～8月3日、広島県各地を会場にして第40回全国高等学校総合文化祭が開催されます。本校からも合唱、器楽・管弦楽、自然科学各部門に参加します。

合唱部門

私たち合唱班Ⅰ・Ⅱ年生から7名が広島県合同合唱団の団員として参加します。広島県合同合唱団は県内様々な高校の合唱部から構成され、本番に向け3月から練習をしています。演奏する曲はとても難しいですが、他校のみなさんの歌声に刺激を受けながら練習に励んでいます。また、この総合文化祭には全国から各県を代表する合唱部の方々がいらっしやいます。全国で活躍される方々の歌声を実際に聴き、交流できる機会は滅多にありません。同じ高校生として、その歌声から沢山のことを学びたいと思っています。47年に一度のこの機会、私たちの歌声で総合文化祭に花を添えられるよう、そして全国の学校との交流を通してさらに成長できるように頑張りたいです。



文化祭ステージ

竹之内 春菜(高Ⅱ)

器楽・管弦楽部門

私たちは7月30日に広島県立総合体育館で行われる総合開会式に8名、8月1日、2日に呉で行われる部門発表に14名が参加します。私自身は器楽・管弦楽部門の生徒実行委員として昨年、第39回総合文化祭が開催された滋賀県に視察・演奏をしに行ったり、普段の練習後に他の実行委員の方と話し合いをしたりしました。10月11日に広島でプレ大会が開催され、楽しかった反面、多くの反省も見つかりました。プレ大会は広島県内の学校だけが出場しましたが、今年の本大会は全国から高校生が参加します。きっと大変なことの方が多いと思いますが、これまでの反省を生かし、より良いものを作りたいと思います。高校生活の間にこのような数十年に一度という貴重な大会に携わることができ、とても嬉しく感謝しています。まだまだ不安はありますが、本番まで頑張っていきたいと思っています。



文化祭コンサート

山本 紗英子(高Ⅲ)

第40回 全国高等学校総合文化祭 2016ひろしま総文

自然科学部門(地学)

私たちは「広島市似島における広島花崗岩の分布と分類」というテーマで、似島の地質調査を行っています。似島に渡り、延べ60km以上歩き、岩石サンプルを採取し、厚さわずか0.03mmになるまで研磨して、顕微鏡下で観察することを繰り返しました。この研究によって約1億年前、地下のマグマがどのように活動し、今日のような似島を形成したかを明らかにしようとしています。目に見えない地下、そして人がまだいなかった過去の様子を探るのは大変ですが、一定の成果を得られました。



調査風景

今回の全国総合文化祭では、県の代表として今日までの研究成果をしっかりとアピールしてきます。

大島 佑月、大島 詩音、
児玉 恭一(高Ⅲ)

自然科学部門(物理)

私たち科学研究班物理グループは「籠の構造と強度について」というテーマで研究をしています。籠にもいろいろな編み方があり、またどんな材料で作るかによっても強度が変わります。私たちは4つの編み方と、3種類の素材に焦点を当てて実験を重ねてきました。強度の大きい籠の条件を明らかにし、その構造を用いて建築物の耐震性を高めることができなかと考えています。私たちの研究には類似した先行研究が無かったため、日々試行錯誤で苦労もありましたが、研究メンバーで案を出し合ったり、先生方に相談したりしながら頑張ってきました。総合文化祭ではこれまでの研究の集大成として悔いのない発表ができるよう頑張っていきたいと思っています。



プレ大会にて

茅田 善生、藤川 理沙子、
光野 舞、村上 詩歩(高Ⅲ)

被爆桜 クローン苗木

71年前、爆心地から約3.7kmの江波山公園で被爆したヒロシマエバヤマザクラを本校生徒がクローン技術で培養させました。

被爆した原木は推定樹齢180年。ヒロシマエバヤマザクラは、花びらの数が5～13枚と通常のヤマザクラに比べて多く、江波山公園以外確認されていません。



本校ではSSH課題研究として2007年からク

ローン培養による増殖に取り組んできました。研究は単年にとどまらず、引き継がれていきました。

住友林業からの技術指導も受けながら500回以上試行錯誤を繰り返し、2012年に原木の細胞から芽を出させることに成功。住友林業の協力で、苗木にまで育ててもらいました。

苗木は今年2月下旬に校内および江波本町公園に植樹。さらに3月下旬には被爆をくぐり抜けた復興の象徴として、SSH校で交流のある福島県の高校2校にも贈呈しました。

校内には正門に入って左側、1号館校舎南側と3号館校舎南側グラウンド寄りに1本ずつ植えられ、現高ⅢSSク

ラスの有志が計測と手入れを行っています。その一人、渡部健太君は「SSクラスの先輩方の成果であり、学校全体としての足跡だと思います。後輩として継承したいし、僕たちが卒業しても次の学年に引き継いでいってほしい。この3か月で50cmも大きくなりました。開花は5年後だそうですけど、卒業してその頃また母校に戻って見届けたいです。」と語ってくれました。



いろいろアカシア情報

◆71回生同期会 8月13日(土) 18時より、ひろしま国際ホテル1階トンフォンにて、開催します。

お問合せ：藤田信弘

nfujita0001@mac.com

◆呉アカシア会 8月21日(日)正午より、呉阪急ホテルにて、開催します。

お問合せ：奥村誠哉(49回)

hxxph779@yahoo.co.jp

◆バレエ班OB・OG会

開催日 9月24日(土)

場所 1部 母校体育館

2部 リーガロイヤルホテル広島

お問合せ：寄田誠司(70回)

◆九州アカシア会総会 10月29日(土)

17時より、ANAクラウンプラザホテ

ル福岡「ロータスの間」にて開催します。
会費：7,000円(学生3,000円)

◆60回生同期会徳島旅行

11月12日(土)・13日(日)

お問合せ：三島孝次 080-1237-4830

koji.mishima@fch.ne.jp

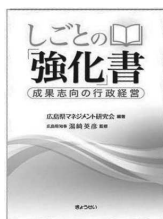
6月初旬までに幹事のみなさまより予定をお知らせいただいたものです。お問い合わせは各幹事へお願いします。このコーナーでは同期会・出版・その他会員の皆様の情報を掲載させていただきます。情報をお寄せください。

アカシア会員ニュース

広島県知事 湯崎英彦氏(75回)監修

広島県マネジメント研究会編著

平成28年5月発売



広島県庁の革新的マネジメントを理論と実践で理解するための必携書。本来行政が果たすべき役割とは、戦略策定の手法、組織・人材・財務マネジメント

とは、行政運営の成果とは、を分かりやすく解説。杉山亮一氏(75回)が著者の一人。(税込価格2,160円)

熊野良樹氏(64回)著書『似島1918』

平成26年11月25日発売

1918年に似島で起きた捕虜収容所の逃走事件。大戦勃発後100年の節目に、ある捕虜の知られざる歴史をひもとく。舞台は欧州、シベリア、横浜、大阪、そして広島・似島へ。(定価1,200円+税)

井手口彰典氏(87回)が指揮

「東広島交響楽団」演奏会

8月15日(月)15時開演、広島国際会議場フェニックスホールにて。新垣隆氏(作曲家・ピアニスト)の新作交響曲〈連祷-Litany〉を世界初演。井手口氏は指揮者としてプログラム前半を担当し、特にピアノ協奏曲については、ピアノ独奏の新垣氏と協演します。

S席4千円、A席2千円。詳細は <http://www.zf-em-net.ne.jp/~ideguchi/images/20th.pdf> で。



～各学年の幹事の皆様へ～

全国版会報では、同期会のご予定を「いろいろアカシア情報」として無料で掲載させていただきます。ぜひご活用ください。

また、お知らせ発送などのための宛名印刷も承っています。宛名シール印刷1シート(10人分)100円(200人分では2,000円)詳細はアカシア会事務局までお問合せ下さい。

平日10時～15時 TEL082-253-5581

東京アカシア会 2016年度総会・春季懇親会



新卒生(106回生)のみなさん

5月29日(日)総会・春季懇親会を、東京・四谷のスクワール麹町で開催致しました。母校より竹村信治校長、砂原徹副校長、広島大学より附属学校担当の松浦伸和副理事、アカシア会より向井恒雄会長(50回)にご来賓として出席いただき、45回から106回卒業までの総勢120名が集いました。

総会では、まず福田眞東京アカシア会会長(55回)より挨拶し、次に中西一

彦事務局長(72回)より昨年度の決算と本年度の活動計画を説明し、拍手で承認されました。

続く懇親会では、竹村校長、松浦副理事よりご挨拶をいただいた後、向井アカシア会会長のご発声で乾杯。歓談の後、新卒生を代表し、中島彩都子さん(106回)より挨拶がありました。

その後の抽選会では、砂原副校長の抽選で、広島カーブ様、サンフレッチ



カーブグッズ当選者のみなさん

エ広島様などからご提供いただいた賞品をかけて大変盛り上がりました。賞品をご提供いただきました皆様に深く御礼申し上げます。続いて、バイオリン奏者であり、カーブ女子としても知られる天野恵さん(95回)の演奏にのせて、「それ行けカーブ」



天野恵さん(95回)を、カーブ優勝を信じて皆で歌いました。会もお開きの時間となり、全員で輪になり校歌、学生歌を斉唱。最後に榎本良二さん(69回)の音頭による力強いエールで締め、大盛況のまま閉会となりました。

秋季懇親会は10月29日(土)の開催です。皆様のご参加をお待ち申し上げます。6月5日記 増谷拓之(85回)

株式会社 融合事務所

所属俳優



柳葉 敏郎



勝俣 州和

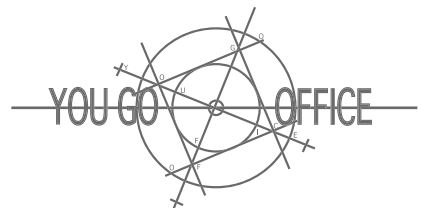


木村 多江



高橋 かおり

代表取締役 宮崎 忠 (66回)



<http://www.yougooffice.com/>

株式会社 融合事務所 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-23-7 エビスパークヒルズ203号 TEL:03-3794-2404

アカシア会報に広告を載せませんか?
一枠(1/10頁) 月例版1.5万円 全国版2万円

近畿発

近畿アカシア会 前期総会



6月5日(日)正午から大阪第一ホテルで、近畿アカシア会前期総会が開催された。当日は、来賓である竹村信治校長、向井恒雄アカシア会会長(50回)を始め新卒の106回生9名を含む会員41名が出席した。

集合写真撮影後、皇暢子副会長(46回)の司会で総会は開会され、堀内重明会長(50回)の開会挨拶に続き、初め

での出席となった竹村校長の来賓挨拶があり、挨拶の中で竹村校長自身高校まで兵庫県で育った披露もあった。

その後議事に進み、堀内会長の議事進行で2015年度活動決算報告について岡國太郎幹事長(57回)の説明、続いて見門忠雄監査役(46回)の監査報告を経て承認され、2016年度の活動事業予算案も承認された。今年度は役員改選の年に当たり、前任者全員の留任が承認され議事は終了した。

第二部の会食は、村田好正氏(41回)の乾杯の音頭で始まった。懇談のあとの向井アカシア会長のスピーチでは、先日のオバマ大統領広島訪問時のエピソードも紹介された。続いて岡幹事長から昨年12月に朝鮮通信使行列イベントを郷里牛窓で毎年続けていることで高円宮記念日韓交流基金から「高円宮賞」を受賞した報告とそれにまつわるエピソードが披露された。

その後は指名された出席者が順に登壇しスピーチを重ねた。学生参加者は全員登壇して自己紹介の場を持った。最後に全員でアカシアソング4曲を斉唱し閉会した。岡國太郎(57回)

[前出以外の出席者] (38)川本和良、(43)熊本直文、(44)井口卓也、(45)対馬敏、(46)春日幸子、(47)山本瑠子、(48)山下善道、(49)生垣之敬、(50)鬼武健二、(51)坪本勝司、(52)堀内重明、(53)高東尚子、(54)村田澄子、(55)清水邦夫、(56)西村律子、(57)西山由里子、(58)豊島秀郎、(59)下田純弘、(60)田頭史明、(61)徳丸義也、(62)河野早紀、(63)二宮廉、(64)棟田純平、(65)渡川ゆり子、(66)久保本一映、(67)平山貴大、(68)柴中美雨、(69)稲野なせ、(70)高下凌一、(71)二宮和香、(72)柴橋和樹、(73)平井和輔、(74)田村凌真、(75)林源太、(76)永田航大、(77)平岡哲、(78)菅川舞衣

その後議事に進み、堀内会長の議事進行で2015年度活動決算報告について岡國太郎幹事長(57回)の説明、続いて見門忠雄監査役(46回)の監査報告を経て承認され、2016年度の活動事業予算案も承認された。今年度は役員改選の年に当たり、前任者全員の留任が承認され議事は終了した。

第二部の会食は、村田好正氏(41回)の乾杯の音頭で始まった。懇談のあとの向井アカシア会長のスピーチでは、先日のオバマ大統領広島訪問時のエピソードも紹介された。続いて岡幹事長から昨年12月に朝鮮通信使行列イベントを郷里牛窓で毎年続けていることで高円宮記念日韓交流基金から「高円宮賞」を受賞した報告とそれにまつわるエピソードが披露された。

その後は指名された出席者が順に登壇しスピーチを重ねた。学生参加者は全員登壇して自己紹介の場を持った。最後に全員でアカシアソング4曲を斉唱し閉会した。岡國太郎(57回)

東海発

東海アカシア会・豊葦会 総会懇親会



東海アカシア会・豊葦会総会を2月28日にレストラン「Vita Felice」で開催しました。ご来賓として本部から向井恒雄会長(50回)をお迎えし、26名が集まりました。沖信一会長(55回)のご挨拶と議事、中村博之さん(43回)による写真撮影の後、最年長の西田節子さん(豊葦会26回)も恒例のFaceTimeでのテレビ電話で参加し、吉本幹彦さん(41回)のご発声で乾杯。向井会長から創立110周年事業の報告とお礼、SSHや読書感想文受賞のお話を頂き、続いて皆さんの近況紹介に。まずは初参加

の大野芳輝さん(85回)は自動車の設計を、何と中村さんは同じ部署の大先輩だったことが判明。吉本さんは千田町校舎の思い出を。末富博さん(45回)は原爆投下直後の広島のことを。坂本利彦監査役(55回)はもうすぐ70歳で現役。三陸を回って震災前との変化を実感された鈴木政子さん(59回)、義父の介護をされている安田健一さん(59回)、スキー旅行中に偶然アカシア会員と出会った宮川隆吉さん(57回)、藤井義敬さん(57回)は胡蝶蘭を栽培。兼川徹さん(48回)は最近の新成人の服装にびっくり、花岡正紀さん(48回)はキューバ旅行のこと、齋藤薔さん(48回)は江戸城天守再建とリニア新幹線の話。成瀬まり子さん(65回)は広島で暮らすお子さんの様子、竹中弘さん

(67回)からは60回代が少ないので次は誘うと約束。72回は今回も5人、酢の博物館の担当をされていた荒田治彦さん、職場が新設の大名古屋ビルヂング内に移った奥村真一さん、小学校教師で子供達を鍛える重河真貴子さん、また翻訳書の新刊が出た服部清美さん、単身赴任中でマラソンにも参加の田中千晶さん。米国長期出張のご主人を気遣う佐藤典子さん(78回)は弁護士として活躍中。茶道を頑張っている水馬裕子さん(85回)は今回も和装で。広島銀行に内定した笹口峻弘さん(100回)、留学から帰る就職活動する置塩章悟さん(101回)。ファミリーなムードで大いに盛り上がり予定時間を大幅超過しましたが、最後に校歌・学生歌を合唱してお開きとなりました。次は9月頃にビール会を開催しますのでご参加下さい。学生は無料です。

5月30日記 梶 幸一郎(81回)

呉発

呉アカシア会 第11回例会



全員で校歌斉唱

春一番が吹き荒れ模様様の2月14日(日)呉阪急ホテルにて呉、広島、竹原、東広島から35名が参加し第11回例会を開催しました。堀川重幸会長(47回)の挨拶に続き、東京より駆けつけていただいた衆議院議員寺田稔氏(66回)より「経済の動きの不透明感がありますが、

広島県は地方創生に向けて力強く進んでいます。呉を含めた旧鎮守府4市が日本遺産に登録申請されました。」と紹介されました。卓話は海上自衛隊呉衛生隊長杉原敦氏(74回)より「海上自衛隊と衛生について」と題し、隊員の健康管理と医療現場での貴重な経験談を聞くことができました。最新の自衛隊の艦船は医療施設が整っており、東日本大震災で派遣された多くの護衛艦や輸送艦には、数人用病室や歯科治療施設、一般病床も数十人分あることや集中治療室(ICU)が都市部と同じ病院レベルで整備されており、震災

時の洋上医療拠点として活躍したこと、海上での手術は波があって大変な経験をしたことなど生々しい話に耳を傾けました。その後、木本芳弘氏(66回)の音頭で乾杯し、世代を超えた楽しい歓談、昼食会を進めました。恒例となった初参加の方の紹介と校歌斉唱、記念撮影そして榎本良二氏(69回)によるエールの後に閉会の運びとなりました。次回は8月21日(日)12時から第12回例会を呉阪急ホテルで予定しています。5月29日記 谷田部 広志(65回)

[前出以外の出席者] (38)中西 巖、(43)大之木精二、(44)川田禮子、(45)後藤吟子、(46)佐藤卓子、(47)藤平祥子、(48)泉 陽子、(49)村尾禮三郎、(50)湯浅純吉、(51)奥村誠哉、(52)竹鶴寿夫、(53)原田瑠美、(54)中西登代子、(55)井藤壯太郎、(56)坂本紘子、(57)近藤邦夫、(58)西田靖、(59)殿村礼子、(60)近森 翠、(61)西村幸子、(62)兼森 均、(63)坪井俊郎、(64)宮加谷靖介、(65)檜井孝夫、(66)藤井貴子、(67)瀧川雅子、(68)堀口悟史、(69)横川 淳、(70)杉原仁

北海道発

北海道アカシア会 お陰様で1歳の誕生日を迎えました



昨年産声をあげた北海道アカシア会。今年やっと1歳になり、5月28日(土)に設立総会と同じ札幌アスペンホ

テル「アカシアの間」を会場に第2回総会を開催致しました。今回はご家族も含め設立総会を上回る14名のご参加をいただきました。

小田史郎幹事(82回)の総合司会のもと、総会では増村哲史(68回)から平成27年度の活動及び会計報告、山中栄監事(59回)の監査結果の報告があり、満場一致で了承されました。続く懇親会では、小林仁会長(59回)からオバマ大統領訪問等故郷広島の熱い話題も織り込んだ

ご挨拶をいただいた後、少人数の気楽さを生かして出席者全員が自己紹介を行いました。特に会の行事に今回初参加となった森田康志氏(63回)、秋野愛氏(89回、お子さんお二人も一緒に)、北大新入生の中井啓嗣君(105回)と三好茉莉奈さん(106回)には、皆さんから好奇心丸出しの質問が浴びせられました。中でも秋野氏は小林会長と同じお仕事ということが分かり、お話しに花が咲いてあっという間に懇親の夜は更けていきました。

次回は、今年秋頃を目途にカーブ優勝祝賀会兼観楓会(「かんふうかい」と読む北海道独特の行事)を行いたいと考えています。

皆さん、またぜひ集まってくれんさい! 6月10日記 増村 哲史(68回)

富山アカシア会



1月17日夕刻富山アカシア会を開催。富山アカシア会は総勢10名という少人数ですが8名が参加。2012年「高志の国文学館」初代館長に就任された中西進氏(38回)(2013年文化勲章受章)を囲んでの有意義な会となった。

氏がアカシア会員であることが分かったのは暫く時間が経ってからの事。先輩とはいえ、日本文学会の泰斗であるご高名な先生とあって当初は近寄り感がたく感じたが、お互いの仕事・研究の話、附属での思い出を語り合い、万葉からAI: Deep Learningの話まで話題は尽きず、夜の更けるのを忘れ旧交を温め合ったひと時でした。

加藤 弘巳(55回)

会では物故者への黙祷、代表幹事交代の報告、会計報告を行った後に、広島市民病院脳神経内科主任部長の山脇健盛先生(63回)に卓話をお願いしました。専門科領域以外の話題に触れられるのもこの会ならではの良さです。懇親会は難波紘二先生(50回)に乾杯の音頭を取って頂き、恒例の1分間スピーチでは各々の近況等色々な興味深い話題が出ました。今回はアンデルセン仮店舗で会場が狭かったのですが、かえってより親密な雰囲気の中であっという間に時間が過ぎました。最後に校旗に向かい校歌斉唱、エール、そして医学部生5人による万歳三唱で閉会しました。出席者は医学部生を含め51人でした。5月25日記 隅田 伸二(71回)

た。年齢差もありましたが楽しい会話で盛り上がり、今後も続けていくことになりました。

5月23日記 安陵 成浩(74回)

出席者: 沖井洋一(42回)、庄司孝(44回)、庄司利枝(44回)、小林元壮(61回)、小野良策(66回)、杉原順二(70回)、安陵成浩(74回)、横峰和典(80回)、沖井明(81回)以上9名。

広島市役所アカシア会 親睦会



昨年12月21日(月)に広島市文化交流会館で広島市役所アカシア会の親睦会を開催しました。昨年度は、土砂災害があったこともあり開催できませんでしたが、今回は、128名の会員のうち24名が出席する賑やかな会となりました。若い世代の参加者が多く、会長の藤田典子氏(64回)の挨拶、佐伯克彦氏(61回)の乾杯で始まり、和気藹々の雰囲気の中、近況報告などを行って充実した会となりました。最後は、尾形完

第1回岩国市アカシア医会



2月20日に第1回アカシア医会を開催しました。かねてから開催の要望はあったのですが、現在岩国市医師会長(小林)、副会長(小野)ともにアカシア会員であることから開催の機運が高まり、ついに実現しまし

職域・クラブだより

アカシア医会第51回総会



5月14日広島アンデルセンでアカシア医会第51回総会を開催しました。総

体育祭DVD復刻版販売!
2000年~2007年の映像に限ります。

ビデオテープの時代の映像もDVD化しました

詳しくはアカシア会ホームページを

(株)クラフトワン 082-253-3661
担当 きりはら kiri@craftone.tv



治氏(61回)の発声で乾杯し、今後ますますの会の発展と、来年もまた集まることを約束して散会しました。

12月25日記 三隅 俊行(66回)

サッカー班 新卒業生 懇親サッカー大会に参加



この度修道、城北、基町、国泰寺高校のサッカー部の新卒業生の方々と共に試合が出来る機会を設けてくださったアカシアSCの皆様、そして人工芝のグラウンドを用意してくださった修道高校OBの皆様には、大変感謝しております。僕たち広大附属高校からはマネージャーを含め、11人で参加させていただきました。

GKが不在だったため毎回試合の度に他校より補充させてもらいましたが、そのおかげでいつもは相手としての立場であるプレイヤーと力強い味方として一緒にプレーし、そこから他校との交流も深めることもでき、大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。

これからも伝統であるこの卒業生サッカー大会を続けていきたいです。 3月20日記 渡辺 裕理(106回)

アカシア会バレーボール シニアOB・OG会



55回～63回までの人に声をかけ、4月16日(土)OB・OG会を開催しました。60歳代の方々です。同じ時代にボールを追いかけた先輩・後輩とはもう会えないのかな…会いたいな!と思ったのがきっかけです。残念ながら中本薩雄

先生は2月に亡くなれましたが、片山一法先生に参加してもらい、昔の事で盛り上がり、高校生に戻ったような気分で楽しいひと時を過ごしました。

時末(倉崎) 美保子(62回)

アマチュア無線班OB会



アマチュア無線班では、長年の欧州勤務を終えて帰国された西尾秀明さん(58回)をお迎えし、昨年12月8日に慰労会兼OB会を開催しました。下界?でのOB会は久々であり、近年の野呂山合宿でお目にかかれなかった方、元顧問の松井坦先生を始め、58～76回の計7名が広島駅前に集いました。

西尾さんの最終赴任地チェコでの勤務エピソードに始まり、各自の近況報告や近年のアマチュア無線事情から日本での無線局再開相談と話題は尽きず、閉店まで大いに盛り上がりました。

会の終わりには、8月の野呂山での再会を約束し、4月から渡米再々就職を検討中の西尾さんの現地での更なるご活躍を祈念し解散しました。

5月28日記 手島 由裕(74回)

年始のアーチェリー班OB会



アーチェリー班のOB会を1月9日に開催いたしました。会場は吉村孝之氏(元バスケット班82回生)が経営する中国

茶とイタリアンの店「露伴茶館」(立町)です。

今回は80～90年代にかけて顧問を務められた田中(井川)泉先生が参加してくださいました。先生のお話から、存続が危なかった時代や伝説的な先輩の様子も知ることができ、先輩方が作ってこられた歴史の中に自分たちはいたのだなということを改めて感じました。また今回はスマホのアプリを使って、東京から岩重景さん(87回)にも顔を出してもらいました。広島までは行けないけれどちょっと顔を出してみたいというOBOGの皆さんは、ぜひスマホ経由でのご参加をお待ちしています。 5月31日記 横川 淳(83回)

同期会だより

40回生同期会



今年の同期会は、4月17日の開校記念日に広島市内の「メルパルク」で開催した。開会に先立ち、ロビーで全員の写真撮影を金子隨道君のカメラで行った。今回はご遺族の大田夫人、煙崎君の長男山坂哲郎氏の参加もあって13名が出席、心楽しい時間を過ごした。

昭和25年に卒業した我々は、戦中戦後の混乱期に疎開、原村兵舎、吉土実校舎を経て、やっと千田町の再建校舎へ復帰した。併せて旧制から新制へと波乱に満ちた時代に卒業した私共も、例外なく80歳台半ばとなった。

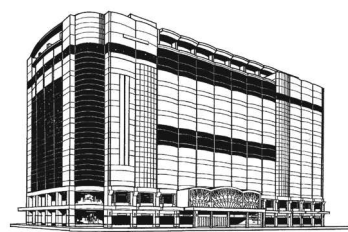
幹事古川浩君の挨拶、山中猛士君の乾杯の音頭で宴がスタートした。瀬戸内の料理と広島銘酒に心地よく酔った宴半ば、参加者の近況報告が始まり、それぞれが持病を忘れて趣味や日常生



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly 皆様の百貨店、福屋。

Fukuya



福屋広島駅前店

話を語った。

会の終わり近く、東京から参加の北番恵一君によるハーモニカ演奏「瀬戸の花嫁」があり、次いで尾形幸雄君のリードで校歌、応援歌を力強く歌って名残を惜しみつつ閉会した。

4月26日記 中山 博文

「第61回新年互礼会」41回生



全員が年男となった平成28年1月2日、正午。快晴、温暖、空気も爽やかな中、恒例の会場「メルパルク広島」宴会場に、最近では珍しい15人の級友が集まった。なにせ社会人となった昭和30年以來、一回も休むことなく連綿と続いて来た新年互礼会は、今回でなんと61回目。当初に比べれば参加者数は激減したものの、多少の体調不良でも敢えて出てくる仲間もあり、原爆による全滅の運命を免れ、過酷な戦争を生き延びて今日がある仲間たちであり、80歳を超える高齢者集団となってもなんとか継続して開催できている所以である。集まれば一挙に70年前の少年時代にタイムスリップして談論風発、懐旧の念ほとばしる新年互礼会であった。

新井 俊一郎

東京アカシア41期春の同期会



昭和20年に入学し7月に原村へ疎開したため原爆に遭遇することなく命拾いした41期生は強い絆で結ばれ、卒業

後東京でも毎年春と秋2回同期会を開催している。今春の会は5月13日恒例の学生会館に広島から参加の高田勇、岐阜から参加の吉本幹彦両君を含め10名が集い同期会を開催した。会は司会の永野泰道君の挨拶で始まり、幹事の岡田から当日欠席の仲間の近況報告、そのあと吉本君の発声で乾杯、高田君から広島同期会の状況など報告があり、出席者全員による近況報告や思ひ出話等で大いに盛り上がり、楽しい3時間があっという間に過ぎた。全員で記念撮影を行い次回秋の会でも元気で再会することを約束して解散した。

5月23日記 岡田 豊

どんな60年でしたか？
46回同期会



今年の同期会は4月21・22日に呉の蒲刈島、大和ミュージアムに行きました。島へは橋が通じており、当日は雨だったので早目に宿泊の県民の浜(輝きの館)へ。46回生は今年卒業60年となる節目の年。参加者は22名でしたが、美味しい食事をいただきながら各自の思いを語り合い楽しい会になりました。還暦を過ぎてからはほぼ毎年同期会が出来ている事は達人の幹事の方々のおもてなしの心、10年の長きに亘り写真を1年1冊の本に纏めてくれたT君の努力に負うところ多しです。

予定外の休館で桜の蘭東閣美術館は見られませんでした。島の文化にも触れ、クレイトンベイホテルのランチに満足し、来る年の再会を期したことでした。

5月24日記 湖尻 浩子

53回アカシア同窓会報告

本年大多数の同窓生が72歳の年男、年女迎えることを記念して「熱海かん



ぽの宿」で6月20～21日1泊2日の同窓会を行いました。同期の森岡照夫君が設計した宿とのことで、格安の宿泊費になり、東京以外の方18名を含め総勢37名の方々の参加を得ました。

53回アカシア会は東京では年に2回定期会を行っています。久しぶりに会う人も多く大いに旧交を温めました。ゆっくり温泉に入り、一次会、二次会、カラオケと大いに食べ大いに飲み、歌い、その後も深夜早朝まで昔話が尽きませんでした。

翌日は真田丸で有名になった新装された小田原城見学に多くの人々が参加し、昼食は、城に近い「だるま料理店」(創業123年前、建物は国登録有形文化財)で、てんぷらや海の幸などの味を堪能し観光を楽しみました。

今度またやりたいね、それまで元気でねと、再会を願いながら楽しい2日間の同窓会を終えました。

6月22日記 赤坂 英樹・伯田 頼彦

56回卒業50年記念同期会



6月5日、卒業50年記念同期会をホテルグランヴィアにて開催。福森信夫、松井坦両先生に御出席いただき、総勢39名での懇親会となった。両先生及び地震地盤工学の第一人者安田進君、井口漁協組合長波田輝明君、元Jヴィレッジ副社長高田豊治君のスピーチの後懇談にはいった。皆、食事もそそ

薬 局
×
地域医療
×
在宅医療



Drug Shimizu 株式会社ドラッグしみず

代表取締役 清水 満明 (78回生)

〒738-0033 広島県廿日市市串戸 3-21-2
TEL:0829-32-4141 FAX:0829-32-4142



www.drug-shimizu.jp

しみず薬局 / 楽々園しみず薬局 / ホンマチ調剤薬局 / 湯来しみず薬局
平良しみず薬局 / ファインしみず薬局 / ライフしみず薬局

ここにちこち動いて話を花を咲かせた様子。当日、眼下に見えるマツダスタジアムではカープがサヨナラ勝ちセリーグ首位に返り咲き最高！最後は校歌、学生歌、山男の歌を合唱してお開き。来年も元気で再会することを約し散会した。 6月6日記 馬場 美保子

アカシア58 筑波に集う

今年の同期会は関東地区。茨城は水戸在住の山脇英範君のお世話で筑波に集うことになった。宴会場所の「ホテルグランド東雲」は筑波センター駅から徒歩5分の便利な場所？にあった。5月28日18：30参加者28名の宴会は、



相変わらずのワイワイガヤガヤのうちにあっという間に2時間が経過した。

今回は西城恵一君が持参した天体望遠鏡での火星や木星の観察が目玉となった。集合写真はいつもとは少し趣向を変えてみたのだがどうだろうか？アカシア58のホームページにはたくさんの写真が載っています。 大辻 明

アカシアライブラリー 寄贈資料の紹介 (2015年12月～2016年4月) (敬称略・受付順) 太字は寄贈者

- 資料のご提供ありがとうございます。
・広島県立安古市高等学校放送部編 DVD「第39回広島県高等学校総合文化祭放送文化部門出品作品」2015年8月6日、新井俊一郎氏(41回)へのインタビュー収録
広島県立安古市高等学校放送部
・中村英(57回)撮影DVD「第22回全国高校選抜オーケストラフェスタ」(57)中村 英
・広島大学附属中学校発行「平成27年度特別活動と道徳におけるキャリア教育カリキュラム 産学連携の現場体験学習報告書」
広島大学附属中学校
・広島市発行「被爆70周年記念事業 原爆死没者慰霊式典の記録」
広島市健康福祉局
・古浦敏生(47回)著「言語学論文集－古浦敏生喜寿記念－」
(47)福永悠一郎

アカシア ミニギャラリー 鉄道写真



あざやかな紫色をご覧いただけないのは残念ですが、昨年11月から博多～新大阪間を走っている「500TYPE EVA」です。2018年3月までの予定ですので、興味のある方はお早めに。



廃止が取りざたされている三江線の江津駅。昨年12月に乗車した際は、石見川本から三次まで貸切でした。



1月末で廃止になった、阪堺電車の住吉公園駅。南海本線の住吉大社駅に併設されているような駅でした。



昨年8月に閉館した梅小路蒸気機関車館。4月29日に京都鉄道博物館として生まれ変わりました。 西山 一法(72回)

会報月例版

〈月例版は年間購読料2,000円〉

7月と1月に会報全国版を全会員の方にお送りしておりますが、それ以外の月にも会報月例版を発行しています。会報月例版は月例アカシア懇談会の報告の他、会員からの情報をタイムリーに掲載、皆様の親睦に役立つ紙面作りを目指しています。

ぜひご購読ください。

購読のお誘い

〈購読のお申し込み〉

アカシア会ホームページや、お電話、Eメールにてご連絡の上、購読料2,000円をお支払いください。年度途中からのお申し込みには、4月からのバックナンバーをお届けします。連絡先や振込先は会報のページ下の帯に記載しています。

報

(2016年1月以降判明)

Table with 3 columns: Name, Position, and Date. Lists members and their departure dates from the magazine.

中元 和也(60回)さんからのご紹介



④ コールアカシアのメンバーで母の同級生でもある、いつも明るく笑顔の素敵なお方です。

③ 昨年結婚し、主人の転勤で今春横須賀へやって来ました。薬剤師として大病院勤務を経て、現在は調剤薬局で勤務しております。在学中は合唱班に所属し、他にも生徒会役員など勉強そちのゆいで興味があることにひたすら打ち込んでいました。卒業後もコールアカシアに所属し年齢問わず多くの方々とお話しさせていただき、広島を離れても母校と繋がっていただける環境に感謝しています。

② 神奈川県横須賀市

自己紹介と、次号登場される方をご紹介いただくコーナーです。

出てもうって ええかいのよ

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号登場の方のご紹介

井鷲 洋介(97回)さんからのご紹介

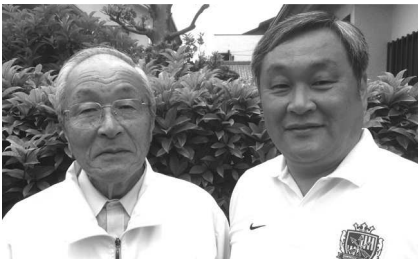


④ 同じくJA広島総合病院で勤務されている先輩かつ指導医の先生です！

③ 現在は廿日市にあるJA広島総合病院で初期臨床研修医

② 広島県廿日市市

アカシア親子じゃけえ②



親：織田 秀之(40回)
子：織田 秀和(70回)

当時の思い出：広大附属高校はサッカーの伝統校。そして叔父(43回：織田輝明)が母校の名選手でもあったことから、私は中学校入学時に迷わずサッカー班に入部。それから高校卒業までサッカー漬けの毎日でした。

全国制覇を成し遂げた父の時代は全校を挙げてサッカーの応援に駆けつけていたようです。私の在学中はかつてほどの強豪ではありませんでしたが、同級生らからの声援が私たちを力強く後押ししてくれたことを覚えています。親から一言：良い出会いが良い人生を導く。これからは出会いを大切に。子から一言：節目ごとの助言に感謝しています。これからは共に晩酌ができるよう、健康には留意してください。

事務局だより

◆広島大学附属中・高等学校体育祭は9月3日(土)開催(雨天順延)。



昨年度体育祭風景

◆住所変更はお早めに！

アカシア会では名簿の作成に向けて転居された方の住所を確認しています。転居の際はアカシア会HPの住所変更フォームや、はがき・電話を利用して、お早めにお知らせください。

◆アカシア会会員数(1~106回)

(平成28年6月7日現在・単位：人)

	人数	男性	女性
会員数	15,998	10,772	5,226
現存会員	11,509	6,815	4,694
物故会員	3,266	3,096	170
転居先不明	1,223	861	362

地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定
東京	福田 眞(55回)	〒101-0047 東京都千代田区内神田2-16-8 第5氏家ビル201 東京アカシア倶楽部内 中西一彦(72回) Eメール k.naka24.chun@gmail.com	総会と懇親会 春秋 次回は 10月29日(土)
近畿	堀内 重明(50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL090-3055-5108 Eメール okakunichan@nifty.com	総会 6月・12月
東海	沖 信一(55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981 (FAX兼用) Eメール tetssato@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 9月・2月
岡山	大本 榮一(27回)	〒700-8550 岡山市北区山下1-1-13 橋大本相内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手 靖吾(54回)	総会 11月第2土曜日 次回は 11月12日(土)

地域	会長	事務局	行事予定
広島	吉中 康彦(50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会 毎月17日 (原則として)
九州	山本 哲三(61回)	〒814-0142 福岡市城南区片江1-25-10 サポート一級建築士事務所内 山本 哲三(61回) TEL092-863-0151 Eメール syam02038@jcom.home.ne.jp	総会 10月29日(土)
東北	二井谷 友公(73回)	〒981-3203 仙台市泉区高森7-16-12 前場 大二(89回) Eメール madeinyamaguchi@yahoo.co.jp	懇親会 不定期
呉	堀川 重幸(47回)	〒737-0823 呉市海岸3-3-4 兼森 均(61回) TEL0823-23-1104 Eメール mj061915plan@yahoo.co.jp	総会と例会 8月・2月 次回は 8月21日(日)
北海道	小林 仁(59回)	〒047-0261 小樽市銭函1-29-17 (有)増村不動産鑑定内 増村 哲史(68回) TEL0134-61-5525 Eメール masumura@almond.ocn.ne.jp	総会 5月頃

日本臨床脳神経外科協会主催 第20回日本臨床脳神経外科学会

会長 荒木 攻

テーマ：2025年問題に向けて
- 脳神経外科のあり方を展望する -

会期：平成29年7月15日(土) 16日(日)
会場：広島国際会議場



医療法人 光臨会 荒木脳神経外科病院

理事長 荒木 攻
院長 沖 修一
特任部長 山本 浩史(68回)
事務部長 松下 督克(75回)
麻酔科 森川 真吾(79回)
理学療法士 栗原 彩子(93回)
広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082(272) 1114 <http://arakihp.jp/>

6月例会レポート

吉中康磨広島アカシア会会長(50回)の挨拶から始まりました。

「算数・数学を楽しむ」
広島経済大学教授
平岡賢治氏(旧教官・59回)

今日はずっとやってきた算数と数学の話を、苦しむのではなく楽しむということでお話します。



【自己紹介】

昭和41年、高校から附属に入り、その後教員として附属に戻って感じたのは、附属では生徒に日々鍛えられたということ。体育祭では非常に悪いことをしてくれて、後でフォローして回るのは大変だったが、悪さをするだけ立派なもんだと。現在は広島経済大学で教えています。

「算数・数学を楽しむ」ということで、プリントを配布、トピックに沿って進められました。

例題：鶴と亀がいる。頭を数えると10。足を数えると32本であった。鶴と亀それぞれ何匹いるだろうか。計算しないで求めなさい。

鶴亀算は計算だからダメです。図を書けばいいんです。頭が10、2本ずつ書いたら足が20本。あと12本でしょう(図で示す)。人に説明するのに、言葉ではなく図が重要なんです。これが頭

の数が100になると書ききれませんが。できる時はできて、できないものは計算を使うという感覚、物事ってそういうものではないでしょうか。

長崎で和算(江戸時代の日本の算数・数学)の研究会を約10年続けました。当時、和算は布を裁つなど実用的なものとして使われていました。数学にすればあまり意味がないかもしれませんが、アイデアというか、発想が立派です。文化の中から生まれてきたものです。

例題：折り鶴を羽ばたく鶴に折るには？

手を抜けばいいんです。通常の折り鶴は尻尾が細いですが、この尻尾を折らなければ、羽ばたきます(実演、拍手が起こる)。折ってしまうと紙を縛るんですね。自由度がなくなる。手を抜くところという鶴ができるんです。折り鶴はきれいなんですけど、出来上がったものでしかないの、やっぱり動かした方がいい。数学というものも、変化するのが役に立つことがあります。

我々が学生のころは数学を鍛えて世界に負けるなという政策でやってきたが、家庭内暴力、校内暴力など問題が起きた時、数学が槍玉に挙げられた。しかし、歴史的に日本の社会のように、みんなが読み書き計算ができる社会は世界にあまりありません。

私が長崎で小学校の先生になる学生を指導した時、数学が嫌いな人を挙手させたらどのくらい挙げたと思います

か？6割から7割です。それが算数を教えるのかと。好きになれとは言わないけれど面白いと思って授業をしないと子供もついてこないでしょう。だから面白いなというようなきっかけを与えられるように、少しずつ材料を増やしていったうちのいくつかを今日披露しました。ありがとうございました。

懇談会

高田勇氏(41回)に乾杯のご発声をいただきました。昭和20年入学の高田さんは、卓話で折り鶴の話が出たことから、先日のオバマ米大統領の広島訪問について感じられたこともお話しくださいました。

6月17日記 長通 麻弥(84回)



平岡氏と同期59回生のみなさん

6月例会出席者(敬称略68名)

[副校長]砂原 徹、(41)菊地日朗、高田 勇、(43)後藤吟子、(44)山本正一、(50)井藤壯太郎、小川玲子、田辺宏子、土屋照子、松本幸子、吉中康磨、(51)上土康弘、(53)馬場則行、山手愆正、(57)上野谷拓也、神島京子、天島純子、(59)安部裕子、岡田勝己、兼田憲治、白井孝司、田島正敏、渡川恵子、中本孝子、新田耕一、原田正人、平岡賢治、三好 新、安川久留美、(63)堤良子、(67)高橋浩一、高橋裕子、(75)井坂雄幸、(76)岡田美香、後藤佳恵、松浦勇人、宮井ふみ子、(77)安道康之、石本一成、上田崇之、追 浩史、村主公夫、原田隆太、中村智恵、日野隆太郎、免田久美子、山田有子、吉貴弘佳、(78)菅野啓司、楠原千津恵、松石真紀子、三浦伸一郎、(82)森 直樹、八谷忠男、吉井良平、(84)伊野有美子、岩本貴充、岡田真弓、神島 静、木川智康、長通麻弥、中村華代、三原雄介、吉田智子、(85)吉川義篤、栗栖史匡、(88)新谷和晴、他1名

月例アカシア懇談会 今後の予定

8月例会：8月17日(水) 午後6時30分

場所：ひろしま国際ホテル
講師：日浦 美智代氏・世羅 晶子氏 広島大学附属中・高等学校教員
新卒106回生の皆様は会費1,000円。詳細は同封プリントで。

9月例会：9月17日(土) 午前10時15分現地集合(予定)

※会場が通常と異なります。ご注意ください。
場所：呉大和ミュージアム・てつのくじら館見学・昼食は呉阪急ホテル
講師：アカシアボランティアガイドによる大和ミュージアム内見学(予定)
(事前参加申込制とさせていただきます。詳細は8月号同封案内で。)

10月例会：10月17日(月) 午後6時30分

場所：ひろしま国際ホテル
講師：未定

11月例会：11月17日(木) 午後6時30分

場所：ひろしま国際ホテル
講師：未定

12月例会：12月17日(土) 午後6時30分

※会場が通常と異なります。ご注意ください。
場所：モーリーマロonz
演奏：ヴァイオリン 児島 幸夫氏(65回)・山田 桜氏(98回)
ヴィオラ 十河 泰成氏(75回)・チェロ 栗原 彩子氏(93回)

懇親会費は4,000円(84回以降の卒業生3,000円)

アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越しください。

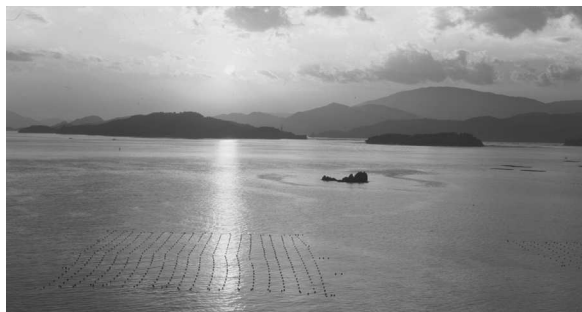
※講師は予定です。

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造課 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL (082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸屋町1-12-9
TEL (03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
歓びの歌 辛きその日も